

2022年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

I 法人本部

【総括】

2022年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により4月にみどり園で8月に清川ホームでクラスターが発生するなど、昨年度に引き続き感染症対策に追われた1年となりました。入所施設では感染防止の徹底を優先し日中一時支援や短期入所などの利用制限を行ったことから、事業活動収入が大幅に減少しました。さらに、ロシアのウクライナ侵攻などによる電気料をはじめとする物価高騰などにより事業費支出額が大幅に増加したことから、2022年度の単年度収支も赤字となり、収入・支出ともに厳しい法人運営となりました。

こうした中ではありますが、みどり園・清川ホーム・伊勢原ふたば保育園・本厚木ふたば保育園でインスタグラムを導入したり、緑友会の魅力を伝えるための採用パンフレットを作成するなど、法人情報の発信力向上に努めました。また、伊勢原ふたば保育園の園庭の敷地を取得したり、アトリエ ヴェルデの土地・建物を基本財産とするなど、法人の継続性を高める取り組みも行いました。2023年度も引き続き厳しい法人運営となりますが、事業活動収入の実績の点検と確認、支出の管理を徹底し、法人運営の安定性の向上に努めてまいります。また、人材の確保・育成に引き続き努め、安心安全な支援、保育サービスの提供に取り組んでまいります。

1 評議員会

令和4年 6月29日

【議案】

- ・2021年度事業報告及び収入支出決算について

【報告事項】

- ・ホームページのリニューアルについて

令和4年11月 4日

【議案】

- ・定款の一部改正について

【報告事項】

- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について

令和5年 3月30日

【議案】

- ・2023年度事業計画及び予算について

2 理事会

令和4年 4月27日
(書面開催)

【報告事項】

- ・4月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・2021年度第2回評議員会について
- ・新型コロナウイルスについて
- ・理事の担当について

令和4年 5月25日

【議案】

- ・金融機関からの借入(6月賞与支給等に係る一時借入金)について

【報告事項】

- ・アトリエ ヴェルデの定員変更について
- ・新型コロナウイルスについて

令和4年 6月14日

【議案】

- ・2021年度事業報告及び収入支出決算について
- ・2022年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について

- 令和4年 7月27日 (書面開催) **【報告事項】**
 ・7月1日時点での入所者・園児等の状況について
 ・2022年度第1回評議員会（定時評議員会）について
- 令和4年 8月31日 (書面開催) **【報告事項】**
 ・新型コロナウイルスについて
 ・伊勢原ふたば保育園の借用地（園庭）の取得について
- 令和4年 9月28日 **【議案】**
 ・不動産（土地）の取得について
 ・金融機関からの借入について
【報告事項】
 ・新型コロナウイルスについて
 ・理事長専決事項の執行状況について
- 令和4年10月26日 **【議案】**
 ・定款の一部改正について
 ・2022年度第2回評議員会の招集について
【報告事項】
 ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
 ・伊勢原ふたば保育園の土地購入について
 ・みどり園と清川ホームのクラスターにおける支出について
- 令和4年11月30日 **【議案】**
 ・金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について
【報告事項】
 ・2022年度第2回評議員会について
- 令和4年12月21日 (書面開催) **【報告事項】**
 ・定款の一部改正について
 ・電気料金等の補助金や見舞金について
 ・事故や虐待の報道について
- 令和5年 1月25日 **【報告事項】**
 ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について
 ・指導監査及び実地指導の結果について
 ・職員採用について
- 令和5年 2月22日 (書面開催) **【報告事項】**
 ・2023年度の理事会・評議員会開催日程案について
 ・本年度決算見込みと来年度予算について
- 令和5年 3月22日 **【議案】**
 ・2023年度事業計画及び予算について
 ・2022年度第3回評議員会について
【報告事項】
 ・理事長専決事項の執行状況について
 ・2023年度理事会開催日程について

3 代表者会議

理事長、総括担当理事、長塚顧問、総務部長、各施設長、医療担当者代表、調理栄養担当者代表を構成員として、毎月（年12回）開催を基本としているが、新型コロナウイルスの感染防止対策で4回は書面報告とした。
法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な事業の報告、書面による確認により、法人全体で共通認識、意思統一を図った。

4 広報戦略会議

理事長、総括担当理事、総務部担当職員2名を構成員とし、年11回開催した。基本資料（パンフレット）・2020-2021年度事業報告の作成、採用案内のパンフレットや動画の作製、求人サイトによる職員の採用対策などに関して協議を行った。

なお、2022年度は、「福祉の輪 広げたい」、「ゆう」の発行を見送った。

- ・基本資料作成（法人本部）
- ・求人サイト（マイナビ・インディード）の点検
- ・職員の採用活動の検討（採用活動用パンフレット、動画・求人広告の検討等）

5 表彰委員会

代表者会議の構成員で年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰
 - 20年表彰 2名
 - 10年表彰 2名
- ・表彰日 令和5年3月24日（法人設立日）

6 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者・園児及び職員の健康管理・疾病予防対策、入所施設の高齢化対策、事故防止対策、新型コロナウイルス感染症対策、看護師業務改善、職員健康診断、健康管理のICT化について情報共有や協議を行い対応を図った。また、会議のみではなく、随時3名で情報、課題共有を行い、総務部、各施設の管理職との連携を行いながら対応した。結果として、利用者、園児の異常の早期発見・早期対応、利用者にあった適切な施設移行、新型コロナウイルス感染症対応、感染者発生時のクラスター対応、ワクチン接種対応等スムーズに行うことができた。また、施設内でヒヤリハットや事故への意識も強化され、事故検証をもとに再発予防につなげることができた。

検討項目

- ・各施設の入院状況、感染症罹患状況の報告、及びその対策について
- ・新型コロナウイルス感染症対策、発生時対応について
- ・事故・怪我の報告、及びその対策について
- ・事故、ヒヤリハットのフィードバック、職員の意識強化について
- ・高齢化等に伴う利用者の対応、施設移行について
- ・職員の健康診断管理のICT化について
- ・事業報告書の作成

7 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名を構成員として6回開催（うち新型コロナウイルス感染予防対策で書面開催3回、ZOOMを利用してのリモート会議2回）。職場での課題や問題点の協議や新型コロナウイルス感染防止等の意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。結果として、より効果的な清掃方法の共有やメニューの拡充、新型コロナウイルス感染防止対策、災害時の対応強化をすることができた。

検討項目

- ・アレルギー対応食について
- ・入所施設食形態表リニューアルについて
- ・厨房、食堂の衛生管理・清掃業務について
- ・行事食について
- ・災害時の食事対応について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・事業報告の作成
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について

8 栄養士会議

栄養士3名、調理員1名を構成員とし、5回開催（うち2回は新型コロナウイルス感染予防対策で書面のみ）。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。また、看護師と会議を行い、喫食者の健康促進に努めた。

検討項目

- ・アレルギー対応食や食形態低下に伴う個別対応について
- ・災害備蓄食料について
- ・栄養素の底上げ・栄養計算について
- ・栄養摂取量の改善について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・各施設間の情報交換
- ・看護師と健康・栄養推進会議の開催
- ・事業報告の作成

9 支援のあり方検討委員会

利用者様の生活を支える支援員を中心とした職員6名を構成員とし、利用者様の生活を豊かにするための検討を行っている。2022年度はみどり園と清川ホームでクラスターが発生した影響もあり、年4回の開催にとどまった。みどり園で発生したクラスターの経験を共有することで清川ホームでクラスターが発生した際には効果的な対策を講じることができたほか、事故が発生してから再発防止策の策定までの流れを確認したり、職員間で情報を共有し、課題の確認・解決に取り組んだ。

検討項目

- ・クラスターが発生時の支援体制
- ・両施設の事故・ヒヤリハットの共有
- ・アフターコロナを見据えた入所施設のイベントについて意見交換

10 衛生管理点検

各施設長による衛生点検と主任調理師による点検を月2回実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

11 施設整備等

- ・みどり園 高圧気中開閉器更新工事
- ・みどり園 消防設備修繕工事
- ・本厚木ふたば保育園 保育室フローリング床のコーティング施工工事

2022年度の課題に対する自己評価

より一層の感染防止対策等を徹底しながら、必要なサービスを継続できる支援や保育、安心安全なサービス提供に引き続き取り組むこととする。

また、安定した保育所運営に資するため、伊勢原ふたば保育園の借地している園庭の一部を取得することとする。

1 安定した法人運営の維持

収支バランスの確認等を継続し各施設の財務規律の意識を高め安定した法人運営の維持に努める。

⇒ 新型コロナウイルス感染症の拡大や物価高騰の影響を受け、厳しい法人運営を強いられた1年となったが、各施設の収支状況を毎月各施設長と点検し、事業活動収入の確保や適正な支出の徹底を図った。また、伊勢原ふたば保育園開設以来借地していた園庭の敷地を取得し、アトリエヴェルデの土地と建物と併せて基本財産とするなど法人運営の継続性を高めた。

2 安心安全な支援体制の充実

コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら、支援の充実に努めるとともに、よりよい支援を提供するため、「支援のあり方検討委員会」で支援の向上に向けた検討を引き続き行うこととする。また、10年先を見据えた持続可能な支援体制を目指した人材の確保と育成に努める。

⇒ 障害者支援施設においてクラスターが発生してしまったが、感染防止に緊張感をもって取り組み、日中一時や短期利用を制限するなどして支援体制を整えた。また、ホームページのリニューアルにともなうインスタグラムの導入や採用案内の冊子を作成するなど、魅力ある法人情報の発信を行い、求人サイト、求人広告、求人案内のポスティング派遣職員等々様々な手法による職員確保に努めた。また、「支援のあり方検討委員会」ではコロナ禍における情報を共有し安心安全な支援について検討を深めた。

3 安心安全な保育サービスの提供

保育士の人材不足が続く中、保育ニーズに応えた保育体制を整えるため、引き続き保育士の確保対策に取り組むとともに魅力ある保育の実践と安心安全な保育の提供に努める。

⇒ 支援員の人材確保と同様に様々な手法による保育士確保に努め、安定した保育体制を維持するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、行政や嘱託医と連携し、柔軟にクラス閉鎖を行うなど、園児や保育士の安全に注力した。

Ⅱ みどり園

1 指定障害者支援施設 みどり園

(1) 入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	67	67	65	66	66	66	67	67	67	67	67	67
入所	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
退所	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2021年度 在籍数	67	68	67	67	67	68	69	68	68	68	67	67

(2) 生活介護通所利用者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2021年度 在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(3) 行事

4月 1日	開園記念式	11月 19日	伊勢原芸術花火鑑賞会
5月 23日	居酒屋イベント	11月 21日	カラオケ大会
7月 4日	ふくまる移動販売	11月 30日	みどり園バザー
7月 26日	七夕イベント	1月 23日	豚汁イベント
9月 27日	納涼祭代替イベントⅠ	2月 27日	節分イベント
10月 24日	納涼祭代替イベントⅡ	3月 6日	カップラーメンイベント

(4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 25日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	新型コロナウイルス集団感染発生のため中止した。
5月 27日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
6月 24日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
6月 27日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	陶芸室より出火想定で訓練を行った。
8月 26日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
9月 22日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
10月 28日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
11月 25日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
12月 27日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	1階男性居室玄関側より出火想定で訓練を行った。
1月 20日 9:20～	避難訓練 (日中火災想定)	1階男性バリアフリー室より出火想定で訓練を行った。
2月 28日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
3月 28日 9:20～	避難訓練 (日中火災想定)	1階大型室より出火想定で訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

(5) 広報

「園だより」を2回発行した。

- ・第181号（11月1日発行） 施設長あいさつ・カップラーメンイベント・開園記念式・居酒屋イベント・七夕イベント
異動職員挨拶・新規採用職員挨拶・新規利用者紹介
- ・第182号（3月9日発行） 施設長あいさつ・新規採用職員・カラオケイベント
バザー・納涼祭代替イベントⅠ・納涼祭代替イベントⅡ
クリスマス食事会・退職職員挨拶

(6) 権利擁護、本人活動支援

① 利用者自治会

年間5回開催。実施したいイベントについて話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。また、職員からの提案事項を相談させていただいた。

② 虐待防止委員会

不適切行為チェックリスト集計結果報告、事故報告、ヒヤリハットの振り返り、虐待の有無、事故検証会議の進め方等の確認をした。

(7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
5月 23日 17:00～	防災研修・感染症研修（演習） 講師：小澤健主査支援員	・防災マニュアルの確認 ・受信機の取扱い方法・感染症対策
6月 16日 10:20～	新任研修（講義） 講師：新実施設長	・組織の職員としての心構え ・直接的技能・虐待防止
7月 26日 17:00～	虐待防止・身体拘束研修（動画） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・虐待とは何か・障害者虐待防止法 ・身体拘束の適正化・虐待防止法の更なる推進
8月 30日 17:00～	福祉施設の個人情報管理研修（動画） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・個人情報保護法の理解・個人情報の落とし穴① ・個人情報の落とし穴②・個人情報の落とし穴③
9月 27日 17:00～	スーパービジョン研修（動画） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・スーパービジョンとは何か ・スーパービジョン展開過程
10月 24日 17:00～	個別支援計画研修（動画） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・個別支援計画とモニタリングを深めよう ・アセスメントのツボ・意思決定支援のアセスメント
12月 22日 17:30～	権利擁護研修会 講師：（福）常成福祉会理事 岡西博一氏	・権利保障に関する共有・日々の支援を問い直す ・全体での共有
1月 23日 17:00～	意思決定支援研修（動画） 講師：大友崇弘氏（社会福祉法人風祭の森）	・意思決定支援とコミュニケーションについて ・丁寧な意思の確認等
2月 27日 17:00～	施設内暴力研修（動画） 会津大学短期大学部 市川和彦氏	・強度行動障害の主な要因 ・行動障害にどう取り組むか

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 実人数8人 延べ人数274人（令和3年度 実人数14人 延べ人数428人）

(2) 地域生活支援事業

（日中一時支援事業）

年間 実人数9人 延べ人数139人（令和3年度 実人数13人 延べ人数763人）

2022年度の課題に対する自己評価

- 職場研修の仕組みを確立し、スーパービジョン体制を整える。
⇒ 年間の研修計画を立て、緊急時以外は計画的に研修（OJT・OFF-JT）を実施した。スーパービジョン体制については、体制表を作成し、個別スーパービジョン、グループスーパービジョンを中心に行ない、スーパーバイザーに寄り添うことができた。引き続きスーパービジョンを職員全員が理解を深めて、職場研修の仕組みを確立し、スーパービジョン体制を構築していく。
- 新型コロナウイルス感染症を含め、あらゆる感染症の対策を徹底するとともに、新しい生活様式を整えられるよう工夫する。（行事外出等の工夫、ご家族との面会方法等）
⇒ 感染症対策の徹底を図ったが、4月に新型コロナウイルスクラスターが発生してしまった。クラスター経験を活かして、さらなる感染症対策の徹底を図っている。感染症対策を徹底して、毎月工夫をしながら園内イベントを実施することができ、家族とのオンライン面会も確立している。今後もみどり園感染症対応一覧見直しを毎月しながら、新しい生活様式を整えられるように工夫努力を継続する。

2022年度の新型コロナウイルス感染症対策について

【感染予防対策について】

- ・施設内の消毒の徹底（朝夕2回）
- ・利用者、職員の体温チェックの徹底。発熱、体調不良者はアイソレーション対応とした。
- ・マスク、防護服、キャップ、シューズ、ゴーグル等、クラスター対応の物品の整備。
- ・通所利用者の健康観察記録の作成。
- ・職員と利用者と一緒に食事を摂らない等、食事介護方法を変更。
- ・感染症及びアイソレーションに関する職員研修の実施。
- ・納涼祭、バザー等を毎月のみどり園内ミニイベントに代替し、縮小して実施。
- ・施設外イベントの参加等の中止。
- ・外部業者による館内立入の制限。
- ・保護者との面会はオンライン面会で(令和3年2月～)。

【新型コロナウイルスクラスター（集団感染）発生状況】

発症月	4月																														5月				計		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4													
利用者	1		2	4	9	3	5	16	16	5	4	1	1																								67
職員				3		1		1		5	1	2																									13
抗体療法					1				6		15	7			2																						31
入院								1	1		1	1	1																								5

○利用者罹患者67名（入院5名） 職員罹患者13名 計80名 中和抗体療法治療者 31名
5/4（水）すべての利用者が療養解除。 5/13（金）経過観察期間終了。

【新型コロナウイルスクラスター（集団感染）への対応について】

- ・4/11（月）利用者1名のコロナウイルス感染が判明。
- ・4/13（水）利用者2名の感染により、2階予備室をレッドゾーンに指定し、アイソレーション対応を実施。
- ・4/14（木）陽性者増加に伴い対策本部設置。
- ・4/15（金）神奈川県クラスター班・障害サービス課職員来園。県の助言により、生活棟すべてをレッドゾーンに指定。
- ・みどり園職員の陽性者増加に伴い対策本部に応援職員を要請。
対策本部で法人他事業所から5名の応援派遣を決定。清川ホーム職員1名（4/19～5/2）
本厚木ふたば保育園職員1名（4/18～5/5）、つくし相談室職員1名（4/24～5/5）
総務部職員1名（4/21～5/5）、つくし職員1名（4/25～5/2）
- ・みどり園職員及び派遣応援職員で帰宅困難職員にホテルを代替場所として確保。
- ・施設内食事提供を弁当宅配に切り替え、調理員1名がレッドゾーンで配膳準備。
- ・生活介護通所、短期入所、日中一時利用は、4/11（月）から5/15（日）まで休止。
生活介護通所は5/16（月）から入所者と別スペース（管理棟3階）を利用して再開、
短期入所、日中一時利用についても、5/16（月）から、ワクチン接種証明書の提示、
2週間前からの健康観察の提出、抗原検査の実施を利用条件として再開。

Ⅲ 清川ホーム

1 指定障害者支援施設 清川ホーム

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	51	51	51	51	51	49	49	48	48	48	49	49
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
退所	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0
2021年度 在籍数	52	52	52	52	52	52	51	51	51	51	51	51

(2) 行事

5月	ふれあいフェスティバル（中止）
7月 16日	夏のお楽しみ会（サマーフェスティバルが中止となり代替え行事）
12月 20日	クリスマス会
1月 17日	どんど焼き
1月 24日	成人・敬老の祝い（成人1名、還暦2名、古希1名、傘寿1名）
月例行事	みんなの会

グループレクリエーション

*新型コロナウイルスの感染症対策の為、例年行っている日帰りレクリエーションを中止し、地域の店舗等からお弁当を購入し、食事会を実施。

日 時	食事会
6月21日	A・Dグループが担当し、お弁当を購入
11月22日	B・Cグループが担当し、浜陣よりお弁当を購入

(3) 防災 業者による年2回の定期防災機器点検、自主点検も2回実施。

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 12日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震：日中想定)	安全の確認、職員間の連携を目的とした訓練を行った。浄水訓練も行った。
5月 10日 13:30～	避難訓練 (火災：日中想定)	厨房からの出火を想定した避難訓練を行った。消火器訓練も実施した。
6月 14日 9:30～	避難訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、防災備品の使用方法を確認。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
7月 12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	作業室からの出火を想定した避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
8月 2日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震：日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を実施した。
9月 13日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	2階女性支援員室からの出火を想定し、避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
10月 11日 9:30～	避難訓練・図上訓練 (地震：日中想定)	避難訓練後、セキュリティーの確認や、防犯システムの確認を行った。
11月 8日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火は3階作業室。消火栓による消火訓練を実地した。
12月 13日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震：日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
1月 10日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災：夜間想定)	19時想定職員5名、出火は3階作業室で消防署へ通報訓練を実施。除雪機の操作訓練を実施した。
2月 7日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震：日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
3月 14日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災：日中想定)	日中2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行った。除雪機の操作訓練を行った。

6月28日、2月21日 13:30～ 追加避難訓練（垂直避難）を行った。

(4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第137号 (9月24日発行)第三十三回開園記念日、食事会、誕生会、その他行事報告

第138号 (3月25日発行)新年の祝い、秋のお茶会、クリスマス会、その他行事報告

常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

(5) 権利擁護、本人活動支援

① あおぞらプラン (かながわ知的障害者権利擁護プラン) の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

② 苦情解決 (厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為、1年間活動中止となる。例年通りであれば、食堂でオンブズマン相談会を行い、相談者1人ひとり、順番に相談を行う。相談内容については改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応する。

③ 本人活動支援 (厚木地区としての活動)

厚木地区の本人活動支援 (Aネット協力員) 運営会議がZOOMで行なわれ、年間3回出席した。

利用者研修会として、他施設との交流会がZOOMにて年間2回行なわれ、1名参加し、楽しまれていた。

④ 本人活動支援 (清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会・答える会

年間11回実施。聞く会・答える会と交互に行った。毎回食事や外出に関する希望が多く寄せられた。食事関係は栄養士、それ以外の意見は担当職員に確認してみんなの会にて回答した。アンケート箱は、参加できなかった利用者や答える事ができない利用者の代弁を書いて活用した。(8月のみんなの会はコロナウィルスクラスターにより中止)

(6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。AED・心肺蘇生法、防犯研修、個別支援計画書の作成 (ストレングス技法・リフレーミング技法) について、意思決定支援について、人権・身体拘束や虐待防止についての研修、リスクマネジメントについての研修を行った。新型コロナウイルス感染症対策・予防の為、今年度も外部講師を招く研修は延期し、内部研修を中心にサポーターズカレッジを活用し研修を行なった。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 実人数 4人 延べ人数 24人 (令和3年度 実人数5人 延べ人数551人)

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 実人数 0人 延べ人数 0人 (令和3年度 実人数1人 延べ人数28人)

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症等の感染を防止し、健康管理について高い関心をもつ。
⇒ 夏季に新型コロナのクラスターが発生したが、重症化するケースはなく、職員一丸となって対応し、無事に乗り切ることができた。
- 2 感染症対策の研修などオンラインの研修への参加を引き続き検討する。
⇒ 近隣施設からクラスターの実体験を教えてもらい、清川ホームのクラスター発生時の対応に役立てることができた。
- 3 様々な災害に対応できるよう、避難訓練について多くの視点を取り入れる。
⇒ 避難訓練後の会議で最少人数の出勤体制を想定した支援について検討をしてきたので、クラスター発生時には、近隣の業者のご厚意と法人内の応援体制の下、困難だった直接支援食事、洗濯、掃除等を実施できた。
- 4 心も体も健康的で、職員間で助け合える職場を目指す。
⇒ コロナ感染等で自宅療養を余儀なくされた職員が復帰するまで、職員同士助け合いながら支援体制を整えた。職員の様々な経験（クラスターなど）が対応困難な時の問題解決に活かされた。
- 5 コロナ禍のため地域との協力を深め、感染防止等につなげる。
⇒ 清川村から、クラスター発生時にアルコール消毒液の提供や光熱費等高等対策事業交付金をいただいた。
- 6 業務の見直し:危機管理の確認と徹底
⇒ 有事の際の備えとして施設にある感染防止物品の質と量を確保したため、職員の感染は最小限にとどめることができ、また、クラスター発生時に職員は感染防止物品を完全装着してレッドゾーンに入り、感染することなく支援することができた。

2022年度の新型コロナウイルス感染症対策について

【感染予防対策について】

- ・施設内の消毒を徹底した（朝夕2回）。
- ・利用者、職員の体温チェックの徹底。発熱、体調不良者にはアイソレーション対応。
- ・マスク、防護服、キャップ、シューズ、ゴーグル等、クラスター対応の物品を整備した。
- ・職員と利用者と一緒に食事を摂らないように配慮した。
- ・新型コロナウイルスの感染症について・アイソレーションについての職員研修の実施した。
- ・外部業者による館内立入を制限した。
- ・サマーフェスティバル、食事外出、施設外イベントの参加等の中止した。
- ・オンライン面会は保護者の参加が少数の為2回実施した。

【新型コロナウイルスクラスター（集団感染）発生状況】

発症月	8月																				計
発症日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
利用者	2	3	7	5	12	5	11	1	2												48
職員	1				1	2	1														5
入院					(1)																(1)

※ 利用者罹患者48名（入院1名） 職員罹患者5名 計53名

- ・8月4日に職員1名・利用者2名が感染し、12日までにほぼ全利用者が感染した。
- ・当初は、8月23日に療養解除の予定であったが、23日に発熱・不調の利用者がいたため、厚木保健所・県クラスター班の指示により療養解除日を29日まで延長した。

【新型コロナウイルスクラスター（集団感染）への対応について】

- ・ 8月4日、神奈川県クラスター班へ連絡。クラスターとなっている施設が多いため清川ホームには来園せず、県クラスター班に、毎日、日次報告を提出することとなった。
- ・ 県の指導により、感染予防のため手袋・ガウンは着用しない支援方法に変更した。
- ・ 8月5日、3Fをグリーンゾーンに指定、3F以外の施設内をレッドゾーンに指定した。
- ・ 法人他事業所から2名の応援派遣。みどり園職員1名（8/10～8/17）・総務部職員1名（8/11～8/17）・清川ホーム調理員1名もレッドゾーンで支援した（8/11～8/17）。
- ・ 施設内食事提供を8月11日から24日まで外注の弁当対応、洗濯も近隣の業者に業務を委託した。
- ・ 清川ホーム職員及び派遣応援職員で帰宅困難職員にホテルを代替場所として確保した。
- ・ 2022年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため日中一時支援事業を中止し、短期入所事業を制限した。

IV 伊勢原ふたば保育園

1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

(1) 令和4年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	6	6	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9
1才	13	16	16	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18
2才	18	21	21	21	21	21	21	21	21	23	23	23	23
3才	20	18	19	18	17	18	18	18	18	18	18	19	19
4才	28	20	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22
5才	30	19	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21
合計	120	100	103	104	103	108	108	108	109	111	111	112	112
	2021 年度	105	109	110	109	109	108	105	105	102	103	103	102

(2) 行事

4月	2日	保育説明会・懇談会（中止）
	4日	新入園児歓迎会（クラス対応）
5月	13日	4歳児春の遠足（平塚市総合運動公園）
	19日	5歳児春の遠足（小田原わんぱくランド）
6月	3日	3歳児春の遠足（伊勢原市総合運動公園）
	7日	田植え（5歳児）
7月	1日	おたのしみ会（5歳児）（買い物、カレー作りは中止）
	4日	プール開き
	7日	七夕（乳児クラスと幼児クラス別々に行う）
	9日	夏まつり（3、4、5歳児の園児と保護者のみ参加）
10月	11日	稲刈り体験（5歳児）
	22日	運動会（保護者にマスク着用、検温を実施）
	24日	芋ほり（4、5歳児）
	28日	3歳児秋の遠足（里山公園）
11月	4日	4歳児秋の遠足（新江ノ島水族館）
	11日	5歳児秋の遠足（横浜動物園ズーラシア） ⇒コロナの影響で1/30に延期
	29～12/1日	保育参観・懇談会（中止）
12月	23日	クリスマス会（乳児クラスと幼児クラス別々に行う）
1月	13日	新春マラソン大会
		〔5歳児保護者1名のみ見学〕 〔保護者マスク着用、検温〕
	24日	防火センター見学（5歳児）
2月	3日	豆まき
	18日	リズム発表会（3～5歳児、1クラスごと入れ替え制）
3月	3日	5歳児卒園遠足（八景島シーパラダイス）
	7日	お別れ会
	18日	卒園式
		〔内容変更、時間短縮、保護者のみ出席〕 〔保護者マスク着用、検温〕
	31日	保育終了の会（3歳児以上参加）

※このほか毎月、身体測定。

※誕生会は全体から、0、1、2歳児は各クラスごと3、4、5歳児は合同に変更した。

※保育参観・懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月5日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について職員間での確認や子ども達には紙芝居等を通して学んだ。
5月30日 10:20	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難となったが各クラス、スムーズに避難をすることができた。(予告なし)
6月4日 10:00	避難訓練 (地震想定)	土曜日の異年齢の保育中地震を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月9日 9:20	不審者対応訓練 (室内に侵入想定)	不審者が侵入したことを放送で聞き、各クラスは保育室の施錠を行い不審者には男性職員が対応した。(予告なし)
7月22日 10:00	避難訓練 (火災想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
8月23日 9:30	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難となったが各クラス、スムーズに避難をすることができた。(予告なし)
9月6日 9:55	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練の予定だったが、熱中症になる恐れがあったため、避難は見送ることにした。
16:00～	引渡し訓練 (中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は引き渡し避難訓練は行わなかった。
10月25日 15:00	避難訓練 (台風・竜巻想定)	冠水も想定し、1階のクラスの園児は速やかに2Fホールに移動。幼児クラスの保育士も手伝いながら連携をとり対応することができた。(予告なし)
11月16日 17:10	避難訓練 (落雷停電想定)	停電後、各クラスのランタンを使用しながら、安全に避難することができた。(予告なし)
12月23日 9:40	避難訓練 (火災の想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
1月20日 9:10	不審者対応訓練	他の保護者に紛れて室内に侵入した不審者に対して、複数の職員で対応できた。また、不審者を刺激しないように合言葉で全体に伝え、各クラス避難体制をとることができた。(予告なし)
1月24日 9:20	避難訓練 (Jアラート想定)	ミサイル発射にともない、Jアラートが鳴ったのを確認し、園内放送にて各クラスに伝え避難体制をとった。(予告なし)
2月20日 7:30	避難訓練 (地震想定)	早朝の地震発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。(予告なし)
3月10日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで速やかに避難することができた。(予告なし)

(4) 広報

- 園だより、クラスだより 毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページのリニューアル 同意書を取り、インスタグラムを導入

2 その他の取り組み

(1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 10 件 (2021年度 7件)
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

① 園庭開放

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年に比べ利用人数は少なかったが、年度後半は利用される方が増えてきた。

② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

今年度は地域教育等連絡協議会が2年ぶりに開催され他施設と情報を共有したり新たな取り組みを模索することができた。例年行っていた「あいさつ運動」は、新型コロナウイルス感染症の影響で行うことができなかった。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

新型コロナウイルス感染症の影響で、中高生と園児の交流する機会を持つことができなかった。

エ 世代間等交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年行っていた、「湘南けやきの郷」「ケアセンター高森荘」との交流会は中止となった。

(2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

	4月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
2022年度	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4人
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人

※新型コロナウイルス感染症の感染状況や職員の休み等の影響で受け入れが減ってしまう。

(3) 職員研修

(園内研修)

月 日	内容	受講人数
5月 21日	食育 講師：リーダー保育士	10人
5月 9日	保育内容について(勤務経験1～5年) 講師：主任保育士	5人
5月 20日	不審者対応 講師：伊勢原警察署	中止
6月 17日	AED講習 講師：伊勢原消防署	中止
7月 28日	保育内容について(勤務経験1～5年) 講師：主任保育士	5人
12月 9日	保育内容について(勤務経験1～5年) 講師：主任保育士	5人
12月 13日	気になる子への対応 講師：リーダー保育士	10人
12月 9日	保育内容について(勤務経験1～5年) 講師：主任保育士	5人
3月 8日	自己評価まとめ 講師：主任	10人

※中止になった研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる。

(外部研修)

月 日	内 容	対 象
8月 25日	保育所における食事の提供ガイドライン	保育士
8月 31日	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	保育士
9月 14日	リーダーのためのコミュニケーション技術	保育士
9月 22日	保健衛生・安全対策	保育士
9月 22日	乳児保育の指導計画、記録及び評価	保育士
9月 29日	保健衛生・安全対策	保育士
9月 30日	乳児への適切な関わり	保育士
10月 3日	保健衛生・安全対策	保育士
10月 6日	乳児保育の環境	保育士
10月 7日	保健衛生・安全対策	保育士
10月 20日	職員の意欲とチーム力を育む主任の役割	保育士
10月 29日	アレルギー相談員養成研修会	看護師
10月 30日	アレルギー相談員養成研修会	看護師
11月 2日	乳児保育	保育士
11月 10日	子育て支援員研修	保育補助
11月 18日	職場のメンタルヘルス対策	保育士
12月 6日	幼児教育	保育士
12月 13日	幼児教育	保育士
12月 21日	乳児保育	保育士
12月 22日	保健衛生・安全対策	保育士
12月 23日	保健衛生・安全対策	保育士
1月 27日	マネジメント講座	保育士
1月 30日	食育アレルギー	保育士
1月 31日	食育アレルギー	保育士
2月 6日	保育者にとってのリフレクションとは	保育士

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、安心・安全な保育に取り組む
 ⇒ 引き続き、基本的な感染予防対策を徹底し、換気や玩具・園内消毒などの衛生管理に努めた。また、保護者の協力や理解をいただきながら必要な情報は一斉メールなどで共有し、迅速に対応することができた。
 感染状況に合わせて柔軟に保育を展開することで、子ども達があまり制限されることなく安心して過ごすことができ従来行っていた行事も再開できるようになってきた。

- 2 子ども一人ひとりに寄り添い、非認知的スキルや自主性を育めるように職員全体で同じ目標を持って取り組んでいく。
⇒ 毎年行っている人権に関する自己評価を改めて考え、不適切な保育とはなにか全体で意識するようにした。また、子どもたちの自主性を育む取り組みを意識し保育の中で常に話し合っ取り組んでいた。
- 3 周りの状況をふまえながら園児の継続的な確保に努めると共に職員の業務負担の改や専門性の向上を目指し取り組んでいく。
⇒ 今年度途中から、保育支援員と保育補助員を採用したことで、保育士の負担軽減を図ることができ、より子どもに関われる時間ができることができた。また、外部研修や園内研修を通してより専門的な知識を得て、その内容を他の職員と共有することができた。園児の継続的な確保では、2歳児クラスの園児を多く受け入れをすことで、一定数の園児数を確保できた。
- 4 安定した保育所運営に資するため、借地している園庭の一部を取得する。
⇒ 園庭の一部を取得することができた。

2022年度の新型コロナウイルス感染予防対策

【感染予防対策】

- ・施設内や玩具などの消毒を徹底する。
- ・園児、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・園児、保護者、職員手指の消毒の徹底。換気の徹底。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良者は出勤停止とし、医療機関への受診と検査を受けるように義務付けた。
- ・看護師と連携した園児、職員の健康管理の徹底。
- ・午睡時、給食時のソーシャルディスタンスの確保。職員のは園児から離れた所で昼食をとるようにする。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・空気清浄機の配置。
- ・感染防止のための職員一人ひとりの責任ある行動を要請。
- ・新型コロナウイルス感染症情報の報告・連絡・相談の徹底。

【中止・変更した事業等】

- ・夏まつり(3～5歳児クラスのみ参加)、クラス懇談会・個人面談は開催時期にコロナ感染者が出たため中止。
- ・卒園式は卒園児、保護者、正職員のみとして時間を短縮して実施。保護者出席は2に制限し、マスク着用、検温を徹底した。
- ・夏期保育体験・実習生の受け入れは感染状況をふまえて実施する。
- ・全体で行っていた季節行事は各クラス単位または乳児と幼児で別れ短時間で実施。

*新型コロナウイルス感染症予防の為、予定していた保育活動に様々な影響を受けたが園児、職員の安心、安全を第一に心掛けた。

【新型コロナウイルス感染状況】

発症月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児	2	0	0	2	6	0	0	14	17	11	0	0
職員	2	0	0	0	6	0	0	4	0	0	0	0
合計	4	0	0	2	12	0	0	18	17	11	0	0

園児 52名 職員 12名 が感染

【休園・クラス閉鎖などの状況】

発症月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児						
1歳児						
2歳児						
3歳児						
4歳児						
5歳児						
休園					8/31~9/6	

発症月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児		11/28~12/2		1/24~1/25		
1歳児		11/28~12/2		1/24~1/25		
2歳児						
3歳児		11/25~11/27	12/25~12/28			
4歳児		11/25~11/27	12/16~12/21			
5歳児		11/25~11/27				
休園						

V 本厚木ふたば保育園

1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

(1) 2022年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	6	7	7	8	9	9	9	9	9	9	9	9
1才	13	12	12	10	11	12	12	12	12	12	11	12	12
2才	13	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12
3才	13	11	11	11	11	12	12	12	12	12	11	11	11
4才	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	13
5才	14	11	11	11	11	11	12	12	12	12	13	13	13
合計	79	66	66	64	66	68	69	70	70	70	69	71	70
2021年度	79	57	59	59	60	59	60	62	63	62	64	64	64

(2) 行事

4月 1日	入園・進級式(中止)	
8日	保育説明会(中止)	
22日	春の遠足4.5歳児(荻野運動公園)	
28日	春の遠足3歳児(荻野運動公園)	
5月24日	さつま芋苗植え(4.5歳児・みどり)	
7月 1日	水遊び開き	
7日	七夕の集い	
15日	夏まつり(園児のみ)	
9月22日	さくら・さくらんぼのリズム(厚木南公民館)	
30日	お楽しみ会	
10月 8日	運動会(3.4.5歳児・厚木第二小学校)	
13日	プラネタリウム(幼児組)	
14日	さつま芋掘り(4.5歳児・みどり園)	
21日	厚木看護専門学校訪問	
28日	秋の遠足(3歳児・伊勢原総合運動公園)	
11月 2日	秋の遠足(4.5歳児・相模三川公園)	
4日	消防署見学	
11日	みどり園遊び	
12月 2日	厚木市主催人形劇(厚木文化会館)	
9日	みどり園遊び	
17日	クリスマス発表会(3.4.5歳児 園内保育室)	
23日	クリスマス会	
1月 6日	新春・伝承遊び	
13日	みどり園遊び	
2月 3日	豆まき	
10日	みどり園遊び	
17日	お店屋さんごっこ	
3月 3日	ひなまつり会	*各月に、誕生会、身体測定
8日	5歳児を送る会	避難訓練などを実施
17日	卒園式	*年2回 内科健診、歯科健診
24日	思い出遠足(5歳児・新江の島水族館)	*引き渡し避難訓練は中止した
31日	修了式	

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月 12日 9:30～	避難訓練 (図上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について話し合った。新年度初めてで、保育士がおんぶするのに時間がかかった。進級して頭巾が変わり、戸惑う児がいた。
5月10日 14:55	避難訓練 (地震想定)	実際に避難靴を履いての避難とした。まだ寝ている児が多かったが、保育士の声掛けや、ホイッスルの合図に驚いたり不安を感じている児がいた。
6月 7日	通報避難訓練 (火災想定)	消防署に通報の訓練をした。保育士自身、貴重な体験をした。子どもたちは、落ち着いて避難できた。(予告なし)
6月14日	避難訓練 (不審者想定)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。幼児は不審者を察知し静かにできた。職員間の連携を再確認した。(予告なし)
7月12日	避難訓練 (火災想定)	非常階段を使っての移動は、乳児組は時間がかかった。おんぶひもなど設置場所を話し合った。(予告なし)
8月 9日 9:30	避難訓練 (津波・洪水訓練)	より高い階層へ逃げるようにした。子どもたちも理解し、しっかり逃げる事ができた。混雑する箇所があり、声掛けをしながら誘導した。
9月9日 11:00	総合訓練 (地震)	各クラスで避難の確認をしたが、3階で遊んでいたクラスの確認を担当ができなかった。無線を使用する周知をした。
16:30～	引渡し訓練 (中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に続き今年度も引き渡し避難訓練は行わなかった。
10月 4日 17:00～	避難訓練 (地震想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月 8日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。担任のホイッスルを合図に集まる事ができた。その後、園に連絡できた。
12月 8日 8:30～	避難訓練 (火災想定)	給食室からの火災を想定し、避難した。玩具を置いて担任のそばに行ったり、自分の靴を探そうとしたりする児がいた。
1月10日	避難訓練 (火災想定)	早い時間帯だったので、保護者も参加した。部屋の中央に集まり、頭を守る姿勢を取って対応できた。(予告なし)
2月 7日	通報避難訓練 (火災想定)	通報訓練、緊張感を持ってできた。乳児組は逃げてから避難靴を履いた。(予告なし)
2月14日	避難訓練 (不審者対応)	落ち着いて担任の話を聞いて静かに待つことができた。保育士自身が落ち着いて行動する大切さがわかった。(予告なし)
3月 7日 16:00～	避難訓練 (火災想定)	子どもたちも保育士も速やかに避難できた。幼児組は自分たちで考えて逃げる事ができるようになってきた。乳児は自分の靴がわかるとなお良い。(予告なし)

(4) 広報

- 園だより、毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- インスタグラムで、タイムリーに保育などの情報を外部に発信した。

(5) 職員研修

6月 21日	「AED使用方法及び心配蘇生法について」
6月 22日	3歳児の発達と保育
6月 30日	4.5歳児の発達と保育
7月 8日	2歳児の発達と保育
7月 14日	0歳児の発達と保育
8月 25日	保育・教育の価値とリスク、申告事故防止(熱中症・置き去りについて)
10月 5日	新人保育士研修
11月 8日	子どもの「気になること」を保護者と相談するための技術
11月 29日	苦情相談への対応方法を学ぶ
2月 7日	体罰未然防止、子どもの権利について学ぶ
2月 14日	発達障がいの特徴と関わり方について
2月 22日	園外活動時の安全確保について

2 その他の取り組み

① 和太鼓への取り組み

年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組んだ。
全学年で取り組めるよう、楽しみながら音の感覚を養えるようにした。
年間を通して取り組めるように、各クラスの目標を掲げて保育士が取り組みやすいようにした。

② 栄養士が独自のメニューを取り入れ、子ども達の日々の様子を見ながらメニューの改善などをした。また、食育をできる範囲で行い、子ども達に食物の大切さを教えた。味噌作りや野菜作りを通して、自分たちで作ったものを食べ、食物に一層興味を持つことができた。コロナ禍だったが、対策をしてできる範囲でのクッキング保育に取り組んだ。

③ 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践

職員全体で共有できるようにし、子ども達が楽しみながら取り組めるようにした。
毎日の保育に取り入れ、子ども達の体幹を鍛え、心身ともに成長していくことができるよう心掛けた。保育士自身の体幹も鍛えられるよう実践した。

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症に対して、しっかりとした対応を行っていく。
また、コロナ禍における制限がある中で子ども達にとって楽しい保育を提供できるように取り組む。
⇒ 手洗いやうがい、手指消毒などを徹底し、検温や視診を丁寧に行った。
また、外部訪問者の検温、手指消毒も合わせて行った。
園の行事は規模を縮小したり、クラスを限定して入れ替え制にしたりした。
それでも、保護者からは参加することができて良かったとの声をいただいた。
園児には限られた中での保育だったので、「楽しさ」を優先させながらも、制限をかけざるを得ない事も多く、戸外での遊びの後の消毒を欠かさないようにした。
コロナ対応は少しずつ緩和されたが、バス乗車の際は子どももマスク着用とした。
- 2 本厚木ふたば保育園の目指す保育を職員全体で共有し、一丸となって取り組む。
⇒子どもを中心にした、子ども主体の保育をすることを共有するため、報告・連絡・相談の徹底をし、情報の共有化を図った。全員に共有できるよう話し合いの時間を大いに取ったが、徹底できていない部分もあった。
- 3 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践し、子ども達により良いリズムを提供できるようにする。また、保育士自身の体幹も鍛える。
⇒子ども達の体幹を鍛えるため、毎日全学年を通して「さくら・さくらんぼのリズム」に取り組んだ。全学年で取り組む事で、お互いに刺激になり、年長組になると手本に慣れる様に子ども自身にがんばる力が養った。
- 4 真心保育で、安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。
⇒コロナ禍の影響で、地域の子育て支援は充実できなかった。公園でも、地域の方と触れ合う事は難しかった。また、厚木市が取り組んでいる、おむつ替えや授乳のできる赤ちゃんの駅「ベビリア」を利用した方はいなかった。
- 5 本厚木ふたば保育園設立10周年を迎え、なお一層の飛躍を目指す。
⇒10周年を迎えたが、新型コロナウイルス感染症の制限のため、特に記念の催しなどは取り行えなかったが、10周年に対する意識を持ちながら保育に取り組むようにした。

2022年度の新型コロナウイルス感染予防対策

【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・園児、職員の毎朝体温チェックの徹底、手指消毒の徹底と日誌による管理。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良の場合は出勤、登園停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・空気清浄機の設置。
- ・退勤時、着用した服等をクロール水で除菌し、退勤。
- ・職員の給食は、事務所で交代で食べるようにした。（園児とは別に食べた。）
- ・午睡時にベッド間の距離を離して配置。

【中止・変更した事業等】

- ・夏祭りは保護者の参加なし、運動会は4・5歳児のみで、それぞれ短時間で実施。
- ・クリスマス発表会、クラス懇談会、クラス面談を中止。
- ・卒園式の出席者を1家族2名に制限。マスク着用・消毒を徹底し、短時間で実施。
- ・実習生受入れを中止又は次年度に延期。
- ・全体で行っていた季節行事等は各クラス単位で短時間で実施。

* 新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事が制限されたり、行事や研修などできなかつたりした。その中でも、子どもたち中心の楽しい保育の提供を心掛けた。今後も、感染症予防対策をしっかり行い、保育を展開していきたい。

【新型コロナウイルス感染状況】

発症月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児		1	2	22	7		2					
職員				6	3			1	1	1		
合計		1	2	28	10		2	1	1	1		

園児 34名 職員 12名 が感染

【休園・クラス閉鎖などの状況】

発症月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児				7/23~7/26	8/6~8/8	
1歳児					8/6~8/8	
2歳児					8/5~8/6	
3歳児					8/5~8/6	
4歳児					8/6~8/8	
5歳児				7/25~7/27	8/6~8/8	
休園						

発症月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児						
1歳児						
2歳児						
3歳児						
4歳児						
5歳児						
休園						

VI げんき家

共同生活援助事業

1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 3名

2 利用者に対する支援

知的障がいのある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

3 ホームの1日

時間	主な内容
7:00	起床 朝食
	出勤 【職場、施設、作業所など】
17:30	帰宅 (世話人と夕食づくり)
18:30	夕食 (世話人と食器片付け)
19:30	入浴 自由時間 就寝

※ 休日は、自由行動。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

バックアップ施設となっているみどり園の職員と世話人との協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 手洗い・うがい等の新型コロナウイルス感染対策を励行し、高齢入居者の健康管理に留意をしながら、就労されている入居者の支援を行う。
⇒ 入居者全員に手洗いうがい等を励行することにより、入居者全員が感染対策を意識して行えた。就労先や事業所に通勤をしているが、新型コロナウイルス感染症等に感染することなく過ごすことができた。
- 2 新規入居利用者の受け入れ準備を整えながら、関係機関との連携を図る。
⇒ 空き状況を相談支援事業所や市町村にお伝えして、数名見学に来ていただいたが、入居にはいたらなかった。引き続き魅力を伝えながら入居者の獲得に努める。
- 3 職員は、法人内外の研修参加を継続する。
⇒ 2022年度はみどり園主催の人権擁護研修に参加している。次年度も研修計画を立て研修を実施していく。

2022年度の新型コロナウイルス感染予防対策

【感染予防対策】

- ・施設内の消毒、換気の徹底
- ・利用者、職員の検温、手洗い、うがい、消毒、マスク着用の徹底。
- ・感染予防消耗品、消毒液の購入。
- ・利用者へ必要以外の外出自粛を要請。
- ・外出自粛によるストレスへの配慮。

Ⅶ つくし 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

1 利用実績 (開所日数・利用者数・平均作業工賃等)

2022年度実績

登録者平均利用率 45.78%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	26	26	26	25	26	26	26	24	24	24	26	25.4
登録者数	52	53	53	52	52	53	51	50	50	50	47	47	50.8
延利用者数	608	627	655	598	560	617	580	597	579	548	522	611	591.8
平均作業工賃	12,151	12,772	14,166	13,796	16,125	13,372	12,892	13,402	17,047	12,281	13,276	15,586	13,724

2021年度実績

登録者平均利用率 47.56%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	26	26	27	24	26	26	26	25	24	24	26	25.5
登録者数	50	48	49	49	49	50	49	50	49	48	49	51	49.3
延利用者数	609	572	673	669	542	603	617	610	567	561	531	621	597.9
平均作業工賃	14,529	12,507	13,846	13,152	15,770	12,810	13,132	12,235	15,985	11,345	10,895	12,353	13,206

※ 登録者平均利用率=延利用者数÷(登録者数×開所日数)

2 作業内容

施設内作業	自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、 検品、段ボール組立、水道メーター解体
施設外就労 自主事業	出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等 手芸品等の販売・リサイクル品販売など

3 その他の活動

就労支援活動	SST (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 4名 (3年度 3名)
実習生受入	東海大学健康学部健康マネジメント学科 田園調布学園大学・人間福祉学部社会福祉学科・心理学科

4 行事

4月 4・5日	花見
6月 28日	家族の集い (中止)
7月 9日	平塚七夕見物 (不参加)
8月 2日	蕎麦打ち体験 (中止)
20日	みどり園納涼祭 (中止)
30日	暑気払い (分散しての外出と施設内で実施)
9月 6日	バーベキュー大会 (県精連秦野足柄上地区・中止)
24日	伊勢原市障害者スポーツ大会 (中止)
10月 1・2日	道灌祭 (不参加)
11月 22日	日帰り旅行 (中止)
12月 1日	「障害者週間」街頭啓発キャンペーン (中止)
3日	ふれあい福祉まつり (すこやか園・ドリーム)
12日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
1月 4日	初詣 (伊勢原大神宮)
2月 3日	伊勢原大神宮節分祭 (不参加)
13日	梅見会 (別所梅林)

※ その他、絵手紙教室、運動プログラム、街頭募金 (中止)

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
2月21日	避難訓練(地震想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月27日	避難訓練(火災想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な作業環境を整える。また、コロナ禍における新しい生活様式を利用者とともに検討する。
⇒ 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用・手指消毒の徹底に努め、作業環境では密集にならないよう安心安全な作業を行った。新しい生活様式としては、室内外でも楽しめる行事の検討を行い、今年度は食事会を3カ所に分散して、実施した。次年度に向けて引き続き新しい生活様式の検討を行っていく。
- 2 1年を通して安定した受注作業がいただけるよう企業との連携を強化しながら、工賃の時給額アップを目指したい。
⇒ 新規受注先の開拓も進んでいるが、受注作業の増加には繋がらなかった。引き続き、企業との連携を図り現在の受注作業が年間を通してきちんといただけるようにしながら、安定した作業収入の確保に努め工賃の時給額アップを目指していく。
- 3 スーパービジョン体制(「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」)をさらに整える。
⇒ 新型コロナウイルスの影響で、思うようにスーパービジョン研修・スーパービジョン面接を実施できなかった。次年度も引き続きスーパービジョン体制を充実していきたい。
- 4 ホームページをリニューアルし、つくしの魅力(一般企業就労実績・専門性の高い支援・丁寧な仕事等)を発信し、利用者の獲得と企業からの作業を発注していただけるようにPR活動を行う。
⇒ ホームページのリニューアルが完了し、見学者等の来訪も多かった。見学者の方が体験利用を希望されることが多いため、次年度に向けてホームページの更新作業も行っていく、利用者獲得と企業へのPR活動を行いたい。

Ⅷ アトリエ ヴェルデ 就労継続支援B型事業所

定員 25名 所在地 伊勢原市高森1422-7

1 利用実績（開所日数・利用者数・平均作業工賃等）

2022年度実績

登録者平均利用率 86.84%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	22.4
登録者数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29.0
延利用者数	566	574	593	555	541	584	576	563	565	537	506	589	562.4
平均作業工賃	15,810	16,140	16,373	14,435	14,524	21,392	15,780	15,599	15,075	14,087	13,873	20,050	16,095

2021年度実績

登録者平均利用率 89.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	21	21	23	22	23	22	20	23	22.1
登録者数	25	25	25	25	27	27	27	27	27	26	26	27	26.2
延利用者数	500	511	518	508	474	512	553	550	544	487	475	548	515.0
平均作業工賃	15,759	16,123	16,734	16,872	13,667	21,620	16,270	16,513	15,684	14,906	14,734	22,946	16,843

※ 登録者平均利用率＝延利用者数÷（登録者数×開所日数）

2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

3 その他の活動

実習生受入 伊勢原養護学校実習生受入

4 行事

4月16日(土)	保護者会(中止)
4月28日(木)	お花見(中止)
5月7日(土)	ふれあいフェスティバル(中止)
5月26日(木)	日帰りレク(中止)
7月7日(木)	暑気払い(平塚「だんらん」)
9月8日(木)	防災訓練(火災想定)
9月24日(土)	伊勢原市障害者スポーツ大会(中止)
10月15日(土)	保護者会(アトリエヴェルデ作業室10:00～)
10月27日(木)～10月28日(金)	一泊旅行(中止)
12月22日(木)	忘年会(クリスマス会アトリエヴェルデ作業室)
1月19日(木)	新年会(平塚「だんらん」)
1月21日(土)	初詣(伊勢原大神宮)
2月9日(木)	防災訓練(地震想定、防災センター見学)

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月8日	避難訓練 (火災想定)	男性更衣室より出火想定、避難口より駐車場まで避難、スムーズに非難する事ができた。
2月9日	避難訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。終了後防災センター見学を行った。

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の定員を25名に変更し、より多くの利用者が通所できる支援体制を整えるとともに工賃の向上を図る。
⇒ 6月から定員を25名に増員した。延利用者数の1日平均は25.1名と25名を若干上回っているが給付費単価下がっている状況から増員しなければならないため、送迎の充実を図り伊勢原駅、愛甲石田駅からの拠点送迎を行う予定です。
- 2 利用者の就労支援と就労後の定着に関する支援を強化する。
⇒ 前年度と今年度の県央地区、西湘地区の障害者就職面接会がコロナ禍で開催されないなど就労への機会が激減する中、地域の理解のある企業を開拓し、利用者の就労につなげたいと努力したが就労につながらなかった。今後も理解ある企業の開拓をしていきたい。
- 3 職員が理念、方向性を共有し、施設内研修、施設外研修に参加し支援技術、モラルの向上を図る。
⇒ コロナの為参加型の研修はほとんどなかった、ズームによる会議や研修はいくつかあったが施設外就労等の職員の配置もあるのでなかなか研修には参加できなかった。今後はサポーターズカレッジ等を利用し研修の充実を図って行きたい。
- 4 新型コロナウイルス対策を行い、利用者が安全の中で作業ができる環境の整備に努めて行く。
⇒ 利用者さん同士のソーシャルディスタンスを確保して作業した。また、対面での食事を避けた席次配置、作業室、食堂に空気清浄機を設置するなど安全な環境を整えた。作業前、作業後の高頻度接触面の消毒は引き続き行っていく。
- 5 「つくし」との連携協力強化を図る。
⇒ 取引先の共有等、作業に関することはお互いの情報交換が行えたが、コロナ禍のため職員の交換研修や交流はできなかった。

2022年度の新型コロナウイルス感染予防対策

【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・利用者・職員の手指消毒の徹底。
- ・利用者、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良者は出勤、利用停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・入室者の氏名及び体温記録等の管理表を作成。
- ・作業棟の換気の徹底。
- ・空気清浄機、オゾン脱臭機の設置。
- ・外部業者による施設内立入の制限。

【中止・変更した事業等】

- ・日帰り旅行、暑気払、一泊旅行、忘年会、初詣の中止。忘年会は食事会に変更し事業を縮小して実施。
- ・春の保護者会の中止。

Ⅹ つくし相談室

相談支援事業

1 開所日数

269 日（2021年：268日） 1日平均相談件数 26.5件（2021年：19.6件）

2 相談実績

（1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2022年度	11	0	90	114	2	1	0	218
2021年度	12	0	86	120	2	1	0	221

（2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2022年度	17	0	136	157	3	4	0	317
2021年度	14	0	136	154	3	4	0	311

（3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	総数
2022年度	843	705	252	3,416	1,150	26	743	7,135
2021年度	776	705	247	2,434	0	50	1,051	5,263

主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 3,932 件
- ・健康医療に関する支援 3,220 件
- ・家族関係・人間関係に関する支援 2,244 件
- ・就労に関する支援 825 件
- ・その他 4,838 件

3 相談実績の分析とその対応

2022年度は、前年度に大きく減少した電話相談が年間1,000件近く増加した。一方で個別支援会議が、電話のみの相談で解決出来たために前年度の半数近くに減少した。また、2022年度から相談件数の正確性を高めるためにメールでの相談を月ごとにカウントすることに変更したことから、電子メールが0件から1,150件となった。

2022年は相談員の異動があったため、年度当初は引き継ぎがうまくいかずに利用者を不安にしまうこともあったが、即座に検討する対応を行った。また、コロナ禍において体調不良の相談も多く、相談内容に合わせた対応を行った。

コロナ禍や物価高で生活に困難をきたしている利用者に対しては「かながわライフサポート」を実施し、2022年度は4件の経済的支援や食糧支援を行った。

2022年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談への対応
つくし相談室の方針として、適切かつ丁寧な支援を行っていく。
⇒ 利用者及び家族に対し、きめこまやかでかつ丁寧な支援を行うことができた。また、毎月の定例会議にて、職員の業務の負担を共有し、改善点などを協議した。今年度は退院後などの通所施設やグループホームなどの福祉サービスの利用について、利用者の意向に沿いながら、見学、体験、利用まで調整する支援が例年に比べると多かった。また、精神的、身体的に治療を必要とされた利用者の通院や入退院時の同行、医療機関との連絡調整の支援も行った。
- 2 関係機関との連携
関係機関との綿密な連携を基本として、相談員がケースを抱え込むことなく「役割分担」を明確にして支援を行う。
⇒ 引き続き関係機関と日頃から情報共有して利用者の支援を行ったほか、医療的な対応の調整、住環境の整備といった支援を行った。特にサービス担当者会議を行うことで利用者及び関係者間で「顔の見える関係づくり」を構築でき、円滑な支援に結びつけられたと考えている。
- 3 新型コロナウイルスの感染状況に対応した支援を行う。
⇒ 職員の毎日の検温、定期的な抗原検査等、健康管理を行った。相談室での面談に関しては、来訪者の検温、うがいや手指消毒、面談終了時には部屋の換気、テーブル、アクリル板の消毒を行うとともに訪問する際の公用車の消毒も随時行った。また、会議の際は、換気を十分に行うとともに、Zoomによるオンライン会議とするなど、感染予防対策を徹底した。
また、相談室職員への早期のワクチン接種に努めるとともに、ワクチン接種を予約することが難しい利用者のワクチン接種予約を代行する支援を行った。
- 4 人事異動に伴う課題を予測し、一つひとつ丁寧に克服して、切れ目ない相談支援体制を維持する。
⇒ 「つくし相談室の異動等に関しての円滑な業務の移行について」を作成し、(1)人事異動で利用者の方が不安や負担が生じないように努める。(2)異動してきた職員がスムーズに業務に取り組むためのスケジュール、検討点などをまとめ、切れ目ない相談支援体制の維持に努めた。
- 5 キャリアにあった研修を受講し、相談員の知識及び経験の維持向上を図る。
⇒ 異動してきた職員が「相談支援従事者初任者研修」を受講し、相談支援専門員としての知識などを学習し、資格を取得した。また、相談支援専門員の1名が「相談支援従事者現任研修」を受講し、連携、地域資源、本人の意思を汲み取り伝える大切さを学んだ。来年度から、障がい者入所施設で意思決定支援の全県展開を予定していることもあり、その責任者を担うため、「意思決定支援ガイドライン研修」に相談支援専門員3名が受講し、本人の目線で支援することを心がけることを学んだ。
- 6 生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート」の事業を円滑な運営に努める。
⇒ 今年度は4名が利用した。3名の方は食料の支援のみで給料日や年金支給日までの支援を行っている。就職したもう1名の方は、給料支給日までの食料や医療費、交通費の支援を行っている。いずれの方も相談支援専門員が経過を確認し、その後生活が安定するように、面談、訪問等を行うなど支援を継続している。

2022年度の新型コロナウイルス感染予防対策

【感染予防対策】

- ・施設内及び公用車の消毒の徹底
- ・職員のマスク着用、毎朝体温チェックの徹底と記録管理
- ・来所利用者への検温、うがい、手指消毒、マスク着用の協力要請
- ・面談室に飛沫防止の亚克力板設置
- ・空気清浄機の活用
- ・会議へのリモート参加
- ・感染防止のため、障がい福祉サービスの通所事業所、入所事業所への訪問ができないケースは、電話もしくはリモートでのモニタリングで対応した。

【利用者への支援】

- ・利用者の新型コロナウイルスワクチン接種の申込支援
- ・PCR検査を実施している医療機関の紹介
- ・コロナ補助金申請の支援
- ・コロナ禍で不安が増している利用者に電話、訪問などの支援を行った。
- ・来所時（特に冬場）、手洗いを快適に行っていただけるように給湯器を設置した。

X 施設間連携室

1 設置場所

伊勢原市粟窪605-1 (みどり園内)

2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸出調整等

3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
2022-04-08	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-04-28	荻野運動公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-04-23	荻野運動公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-05-19	小田原わんぱくランド	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-05-23	芋の苗植え	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-05-24	芋の苗植え	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-05-24	芋の苗植え	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-06-03	伊勢原総合運動公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-06-06	健康診断	日産マイクロバス	つくし
2022-06-06	健康診断	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
2022-06-16	七夕竹運び	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-06-07	田植え(加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-06-16	七夕竹運び	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-07-14	レストラン(だんらん)	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
2022-08-30	レストラン(ふじまる)	三菱マイクロバス	つくし
2022-09-30	宮ヶ瀬公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-10-11	稲刈り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-10-14	芋掘り	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-10-24	芋掘り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
2022-10-28	伊勢原総合運動公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-10-28	茅ヶ崎里山公園	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-11-02	三川公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-11-04	新江ノ島水族館	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-11-11	みどり園芝生農園遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2022-12-12	宮ヶ瀬クリスマスツリー	三菱マイクロバス	つくし
2023-01-13	みどり園芝生農園遊び	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2023-01-24	防災センター見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2023-01-30	ズーラシア	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2023-02-13	曾我梅林	三菱マイクロバス	つくし
2023-02-21	防災センター見学	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
2023-02-24	伊勢原市消防署南分署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2023-02-28	伊勢原市消防署南分署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2023-03-03	八景島シーパラダイス	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2023-03-24	新江ノ島水族館	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園

2022年度の課題に対する自己評価

引き続き施設間での公用車（マイクバス等）の送迎や貸出の調整業務に取り組み、みどり園花壇農園での保育園さつま芋掘りの手伝い等を行い、withコロナの新しい時代に適応できる仕組みを構築していく。

⇒ 2022年度は各事業所がコロナ禍での外出等を模索したうえで、公用車（マイクバス等）・みどり園芝生農園・備品等の貸出や、みどり園花壇農園でのさつま芋掘りを実施することができた。次年度も園児・利用者様が安心安全に楽しめるように公用車の整備とさつま芋掘り等の準備を行い、法人内の公用車、備品、農園等を有効に活用していきたい。

2022年度の新型コロナウイルス感染予防対策

【感染予防対策】

- ・車両のシート等の除菌消毒の徹底。
- ・乗車時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・車内換気の徹底。